

家庭教育学級だより



令和3年 5月 10日 第1号

【家庭教育学級】 核家族化・少子化・地域の連帯感の希薄化が進む現代社会においては、子育てについて気軽に相談できる機会が少なくなっています。そこで、“自信を持って、楽しく子育てをしてほしい”との思いから、子育てに迷い、悩んでいる親御さん、家庭教育のヒントを学びたい親御さんを対象に「子育てや家庭教育について学ぶ場・学ぶ機会」を設けたものです。

家庭教育学級事業が動き出しました

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、各実施機関では多くのことが制限された年だったのではなかったでしょうか。

令和3年度も、まだまだ予断を許さない状況下で、各実施機関でも先が見えない状況だとは思いますが、家庭教育学級開設に向けて着実に準備は進んでいます。その一環として、4月26日

(月)からの3日間、石巻中央公民館を会場として「家庭教育学級担当者説明会」が行われ、各実施機関から家庭教育主事の先生方が集まり、今年度の家庭教育学級の運営についての話し合いが行われました。

話し合いの結果が今後の各実施機関での学習会に活かされ、実りの多い学習会になってくれればと思います。



合同学習会の開催について

これまでの家庭教育学級の学習会は、幼稚園、こども園、保育所、保育園、小学校、中学校などの実施機関を会場として行われることがほとんどでしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、各実施機関での学習会ができない状況となり、学習会も中止や延期という状態となりました。

しかしながら、家庭教育の充実のために保護者に「学びの機会」「学びの場」を提供することの重要性を鑑み、各実施機関を会場にするのではなく、公民館等を会場として学習会を行う「合同学習会」を開催することとし、令和2年度は2回の合同学習会を行いました。

回数も、参加者数も少ないものではありませんでしたが、参加者から「とてもよい内容でした」「これからも継続してほしい」などの意見や感想があり、今年度も継続して実施することとしました。今年度の詳細が決定ししだい、ご案内したいと考えておりますので、多くの方の参加をお待ちしております。

令和2年度を振り返って

令和2年度は、予想外のことが多く、今年度に生かすことがなかなかできない状況ではありましたが、一年間を振り返り、今年度の参考になればと思います。

1 学習会への参加状況について

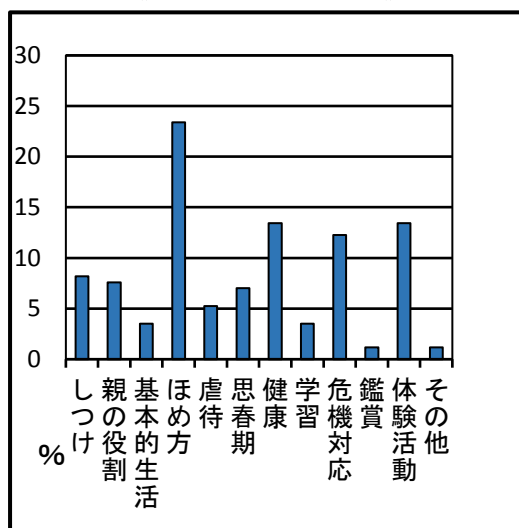
- 実施機関数は、急な中止や変更等もあり、激減の状態でした。実施機関数は33の機関で、学習会の開催も53回でした。令和元年度の3分の1程度の実施でした。
- 参加人数は、2,434名で、昨年度よりも75%の減少となりました。
- 参加者の事後の感想を見ると、ほとんどの参加者が「参加してよかった」「また参加してみたい」などが多く、学習会に対して良好であるという回答が見られました。

2 今年度への要望等について

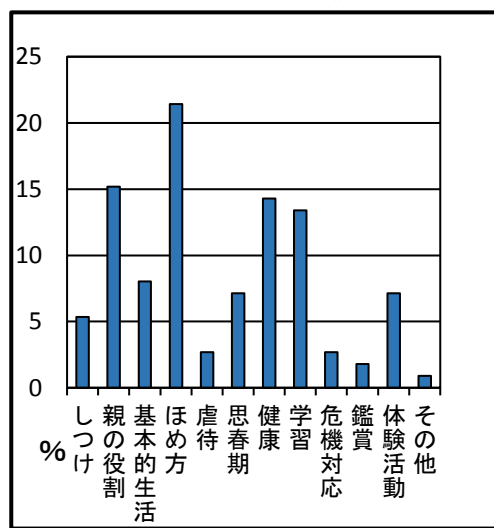
各実施機関での学習会後に行っている評価アンケートからみると、参加者が学習会で学びたいと思っている内容は以下のようになっています。これらの結果を十分に踏まえ、今年度の学習会の内容等についても、更に検討していく必要があると感じております。

各実施機関と連携を密にし、更によりよい学習会になるよう話し合いを行っていききたいと思います。

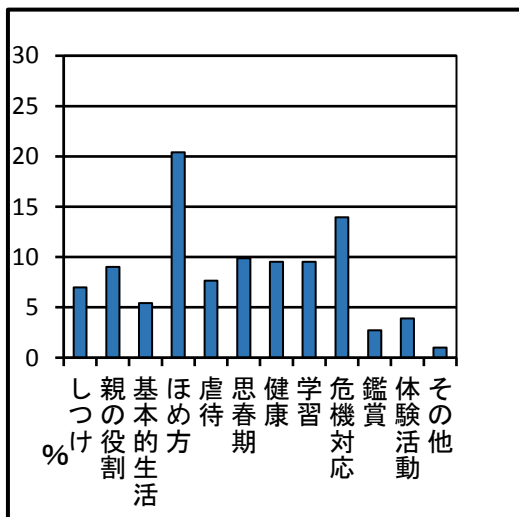
《幼稚園・こども園》



《保育所(園)》



《小学校》



《中学校》

